

先進地（現地）調査報告書

平成30年3月30日

玉名市議会

議長 中尾 嘉男 様

氏名 作本 幸男



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	作本 幸男、城戸 淳、近松恵美子、西川 裕文 古奥 俊男、坂本 公司
日時	平成30年 2月 5日（月）～平成 年 月 日（ ） 午後 2時00分 ～ 午後 4時00分
調査先	浜松市役所
調査事項	大河ドラマを活用した誘客施策について ① 昨年放送の「おんな城主 直虎」での実績と成果について ② 来年放送の「いだてん～東京オリムピック噺～」に向けて の取り組みについて
調査先面会者	別紙のとおり
概要及び所見	別紙のとおり

調査報告書概要及び所見

1. 浜松市役所視察研修

- (1) 日 時 平成30年 2月 5日 (月) 午後2時～午後4時
- (2) 調 査 先 静岡県浜松市役所
- (3) 調 査 事 項 大河ドラマを活用した誘客施策について
- (4) 調査先面会者 議会事務局 ████████ 調査法制課長、██████ 調査法制グループ主任
産業部 観光・シティプロモーション課 ████████ 課長補佐
██████ 副主幹 ████████ 主幹
- (5) 概要及び所見

浜松市は、首都圏と関西圏のほぼ中間に位置し、都市機能や先端技術産業が集積する都市部、都市近郊型農業が盛んな平野部、豊富な水産資源に恵まれた沿岸部、広大な森林資源を擁する中山間地域があり、国土縮図型都市である。人口795,928人、世帯数316,016世帯、面積1,558.06平方キロ、予算規模約6,267億円（一般会計3,264億円、特別会計2,293億円、企業会計710億円）、職員数4,833人、議員定数46人、議会事務局職員22人の、面積は、岐阜県高山市に次いで全国第2位、人口は静岡県第1位を擁する、政令指定都市である。古くは、徳川家康が築いた「浜松城」、近代ではチャレンジ精神にあふれた多くの企業家を輩出し数々の世界的企業が生まれ、現在、世界を舞台に活躍する浜松発の大企業を有する日本有数の「ものづくりのまち」、世界に誇る「音楽の町」、加えて、商工業のみでなく、農水産品等の日本一も多数有する「出世の街」にふさわしい、「人」・「もの」・「情報」が活発に行き交う、元気で活力ある都市である。

今回、来年のNHK大河ドラマ「いだてん ～東京オリンピック囁～」の放映が決定し、玉名市の名誉市民であられる金栗四三氏と浜松市出身の田畑政治氏のお二人が主人公となられることとなった。大河ドラマを活用した誘客施策について、①昨年放送の大河ドラマ「おんな城主 直虎」での実績と成果について、②来年放送の「いだてん ～東京オリンピック囁～」に向けての取り組みについての研修を行った。現在、「いだてん」の取り組みで、すでにお互い行政間で職員同士が交流を持ちながら、全国に両市のPR活動に力を合わせ、大河ドラマ「いだてん」の成功と両市への誘客、交流人口の増加のために事業を行っておられる浜松市の担当職員の方々への御礼と激励も兼ねての研修となった。

まず、昨年直虎に関しては、当初はあまり地元でも知られていない存在であったという説明であった。しかし、放映決定後の対応に関しては、素早く、そして、多方面にわたり、市と市民が一丸となり対応がなされていた。市長を本部長とした推進本部、商工会議所会頭を会長とした推進協議会（官民98機関参画）、官民協働ワーキンググループ、加えてNHK、本当に浜松一丸となった直虎プロジェクトであり、市の総予算も17億円であった。その中で、大河ドラマ館、地域遺産センター、出世の館、ロゴマーク、マスコットキャラクター、観光ガイド、市民ボランティア、HP、民間連携プロモーション等の結果、交流人口増加や経済波及効果はすばらしい実績となっていた。地域ブランド調査では、全国前年27位から16位、県内1位、東海2位と上昇していた。県内の経済波及効果は、当初日銀予測179億円が実績248億円の報告が出ていた。田畑政治氏については、直虎以上に地元での知名度は薄く、今後の課題となっていた。また、翌日、浜松市より約1時間の位置にあり、高速道路のインターに近い直虎のふるさと井伊谷も訪ねた。ここには、「大河ドラマ館」が期間中設置されていた。JR利用者主体の浜松市の「浜松出世の館」と高速道路利用者主体の「大河ドラマ館」など利用者に合わせた施設や、スタンプラリー・レンタサイクル等の体験型コンテンツ、協議会会員独自の取り組み等、市内を訪れる方々に本当に利便性があり、喜んでいただける、内容的にも場所的にも考慮した、おもてなしの心あふれる企画がなされていた。今回の研修で、浜松市の職員の方々との交流が持て、今後への繋がりが確実に出来たと思えた。また、観光資源等から地域の魅力を作り出し、それを国内外に発信し、都市のブランド力を高め、「人」・「もの」・「情報」が活発に行き交う、元気で活力ある都市を創る活動をわが玉名も必要と感じた。